

令和2年度学校評価（教育活動診断アンケートより）

令和3年3月 中央小学校

12月に実施した「教育活動に関する調査（教育活動診断票）」へのご協力、ありがとうございました。保護者の皆様にご協力いただくとともに、学校では子どもたち全員にもアンケートを実施しました。先日、「学校関係者評価委員会」を開催し、5名の委員の方々と分析を行いました。以下、主な項目を中心に、調査結果から見た傾向や特徴を報告いたします。

表中の数字については、教育活動診断アンケートの4段階評価のうち、A（あてはまる）とB（だいたいあてはまる）数値（%）を合計したものです。

○子どもたちにとっての学校生活

コロナ禍の一年でしたが、「授業が分かりやすい」「学校へ行くのが楽しい」の数字が上がったことは大変うれしいことです。本年度、学校では「いいとこさがし」を合言葉に、子どもたちの良さを見つけ、認め、伸ばしていくことを意識して教育活動に取り組んできました。

学級内でも子どもたち同士が良さを認め合えるような指導をしたり、活動を取り入れたりしてきました。また、授業では「7つのやくそく」の意識づけに力を入れ、授業に向かう基本的な姿勢・心構えを作る努力をしてきました。「進んで自分の意見を言う」ことなど、まだまだ十分ではありませんが、今後も継続するとともに、さらなるレベルアップを目指していきたいと思います。

質問内容	本年度	昨年度	比較
【児童】学校へ来るのが楽しい。	83.7	80.8	+2.9
【児童】授業はわかりやすく楽しい。	84.6	81.8	+2.8
【児童】授業では、友達の意見や感想をよく聞いている。	88.8	86.8	+2.0
【児童】授業では、進んで自分の意見を言うことができる。	63.8	63.8	±0.0



〈聴くときは体を向けて〉

○友だちとともに

友だちとの関係づくりも、子どもたちにとって大切なものの一つです。ここにあげた2つの項目で数字が上がっていることも「学校へ行くのが楽しい」の要因になっていると考えられます。ただ、

一方で、「楽しい」「相談できる友だちがいる」などについて、否定的な回答の児童が一定数いることは無視できません。すべての児童にとって楽しく充実した学校生活となるように、児童の成長を第一に考えた教育活動を展開し、多くの目で子どもたちを見守っていかねばならないと考えています。

質問内容	本年度	昨年度	比較
【児童】学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる。	79.4	77.0	+2.4
【児童】自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる友だちがいる。	85.7	83.2	+2.5

○3つの宝

「あいさつ」「掃除」「ランニング」は中央小の「3つの宝」です。本年度は特に「あいさつ」を高めることを意識して様々な活動に取り組んできました。しかし、数字を見ると残念ながら成果が上がったとは言えません。今後も「自ら、進んで、明るく」あいさつができるように、子どもたちに働きかけていきたいと思ひます。「掃除」については、依然として高い数字を保つことができている。掃除の時間に子どもたちが床に這いつくばって一心不乱に雑巾がけをしているのが、日常的な光景になっています。ぜひ継続させたいと思ひます。

質問内容	本年度	昨年度	比較
【児童】友だちや先生に、笑顔であいさつができる。	82.6	84.6	-2.0
【児童】家族や地域の人に笑顔であいさつができる。	81.1	84.4	-3.3
【児童】掃除に真剣に取り組んでいる。	89.3	89.4	-0.1



〈掃除の様子〉

○コロナ禍の中で

本年度は当然のことながら、コロナ禍の影響を受けた部分が多くありました。学校の活動や行事については、ランニングの機会がかなり制限されてしまったこと、にこにこ集会など全校で集まる活動がかなり制限されたこと、読み聞かせができなかったことなどがアンケートの結果に表れました。一方でそんな制限の中、授業も行事も感染予防対策を講じながら、できる限り実施してまいりました。マラソン大会に向けては、学年や学級ごとに走る機会を設けてきました。児童が中心になって運営する集会は、運動場で密集・密接を避けられるように内容を工夫して行いました。今後も対策は継続していきます。子どもたちの健やかな成長を目指して教育活動のあり方を模索していきたいと思ひます。

質問内容	本年度	昨年度	比較
【児童】目標をもってランニングをがんばっている。	76.9	81.8	-4.9
【児童】にこにこ集会やなかよし遊びは楽しく、積極的に取り組んでいる。	90.4	91.5	-1.1
【児童】読書タイムなど（R2読み聞かせなし）の時間が楽しい。	77.9	84.5	-6.6



〈にこにこ遊び〉



〈マラソン大会〉